



# 学校便り 琢磨

令和3年度 第4号 R3.4.23 三豊市立詫間小学校

HP <https://mitoyo.schoolweb.ne.jp/mitoyo/takuma-e/>

## 「花和紙体験学習」がありました！

4月20日（火）。4年生の皆さんは、花和紙作りの体験教室がありました。

例年なら、大浜にあるフラワーパーク浦島までバスに乗って行き、そこで花和紙を作るのですが、今年は、新型コロナウイルス感染防止のため、詫間小学校の芝生広場で、学級ごとに3回に分けて実施しました。（ちなみに昨年度は、学校が全国一斉の臨時休業のため中止となりました。）

花と浦島イベント実行委員会の皆様のご指導で、木の枠で紙すきをして、その上に花びらなどを並べて、模様を作りました。4年生の皆さんは、発想豊かに、そして根気強く模様を作っていました。最後に、上から押さえを流して出来上がりです。

朝一番は、竹組さん。朝の二番手は、松組さん。そして、午後からは梅組さんでした。梅組さんが活動した午後は、気温がぐんと上がり、暑さを感じる中でしたが、全員が満足のいく作品を仕上げることができました。

この花和紙は、1週間ほど乾燥させて完成するそうです。どんな花和紙ができているのか、今から楽しみです。私も、4梅さんの活動の時に、花と浦島イベント実行委員会の方と一緒に、花和紙を作りましたので、早く、完成した物を見てみたいです。きっと、4年生の皆さんも同じ気持ちだと思います。



## 4月26日（月）は、お弁当・おやつ持参の日です！

来週の月曜日（4月26日）は、お弁当・おやつ（300円以内）持参の日です。なぜ、お弁当・おやつを持参なのかは、学校便り1号でお知らせしましたが、改めて、次のとおりです。

4月24日（土）に予定していた授業参観が、香川県独自の警戒レベルの引き上げにより中止となり、26日（月）は、授業日にもどしました。しかし、26日は、給食を停止しておりましたので、様々な都合上、給食を追加するのは極めて困難となります。そこで、4月26日（月）は、お弁当・おやつ（300円以内）を持参し、校内でちょっとした遠足気分を味わうことができる日としたいと考えたからです。学年によっては、校外に出かけてお弁当ということもあります。

保護者の皆様には、ご面倒をおかけします。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

そして、前日は日曜日です。詫間小学校の皆さん。よかったらお弁当作りのお手伝いをしませんか？いや、お手伝いじゃなくて、お家の人がお手伝いなんて人がいるかも知れません。私も、自分で手作りしてきますよ。もしも、自分でお弁当を作ってきたという人がいたら（全部でなくてもよい、お手伝いでもよい）よかったら、栄養教諭の大西先生に言ってくださいね。

言葉について

アルバイトシリーズは、ちょっと休憩（きゅうけい）して、今日は「言葉について」のお話をします。私は、国語科が専門ですので、やっと国語の先生らしい記事を出すことができます。言葉って、とても「ふしぎ」なんですよ。

例 私のお父さんは、毎朝、朝ご飯を食べる前に、台所で新聞を開きます。

さて、お父さんは、何をしているのでしょうか。そうです。「新聞を読んでいる」のですね。国語辞典で「開く」を調べてみます。「開く」の意味は5つも書かれています。①しまっていたものや、ふさがっていたものがあく。広がる。「窓が開く。」②花が咲く。「桜が開く。」③始める。「店を開く。」④間があく。へだたりができる。「1位との差が開く」⑤新しく土地を耕す。「あれ地を開く。」の5つです。でも、「読む」という意味はありません。辞典にもものっていないのに、私たちは、「新聞を開く」の意味を、閉じていた新聞を広げるというのではなく、「新聞を読む」と理解することができるのです。「ふしぎ」だと思いませんか？

それは、国語の勉強を積み重ねてきたからなのです。物語や説明文を読んで、言葉や、言葉と言葉のつながりから、そして、自分の経験と結び付けながら、直接は書かれていないことを読み取っていく勉強をしてきたからこそ、こんなことが簡単にできるのです。

では、例の私のお父さんは、毎朝、朝ご飯を食べる前に、台所で新聞を開きます。を、新聞を読むのではなく、辞典の意味の①のように、ただ「あける」「広げる」という意味にしたい時には、新聞の前か後ろに漢字1文字を加えるといいのです。さて、その漢字1文字は何でしょうか？ご家族で考えてみてください。

私のお父さんは、毎朝、朝ご飯を食べる前に、台所で □新聞□ を開きます。

実は、この問題は、私が小学校5、6年生のために考えて作った問題です。答えも用意していました。私が用意していた答えは、

私のお父さんは、毎朝、朝ご飯を食べる前に、台所で新聞紙を開きます。

でした。新聞を開くというのは、本を開くと同じように「読む」ということですが、それに「紙」がつけば、読むというのではなく「新聞紙」という物を開く意味になるだろうと考えたのです。

私が5年生を担当していた時に、この問題をクラスの子どもたちに出してみました。すると、衝撃的なことが起こったのです。子どもたちが考えた答えの中には、「新聞紙」というのもありましたが、クラス全員が満場一致で「これが一番！」という答えは、「古新聞」だったのです。完全に子どもたちに負けてしまいました。そして、とてもうれしくなりました。

私のお父さんは、毎朝、朝ご飯を食べる前に、台所で古新聞を開きます。  
(何かを包むのでしょうか。もしかしたらお弁当？そんなことまで想像できます。)

私たち教員は、子どもたちを教えていると思っていますが、実は、教えている何倍も、いや何十倍も、子どもたちから教えてもらっていることがあるのです。ありがたいことです。